

6月30日

## 保護者の皆さんへ

3年主任 森 俊幸

みなさんこんにちは。

通常授業が始まり、1週間が経ちました。部活動は今週まで平日3日、60分のみですが、やっと、学校に活気が戻ってきました。

さて、今回は『挨拶』についてお話しさせていただきます。私はかなり、挨拶をする方だと思っています。校内に1000人近く生徒がいます。申し訳ありませんが、その全員の顔と名前が一致している訳ではありません。でも、挨拶をします。時には全く無視する生徒もいます（新生入生に多いです）が、それでも何度も挨拶をし、私が挨拶をする人間だと認識し、2学期以降になると、いつの間にか自然と挨拶を返してくれるようになります。

私も教員になりたての頃は体育会出身のノリもあって、生徒に対して自分から挨拶するのに少し抵抗がありました。大学では自分より年下（後輩）なら、挨拶してくれるのが当たり前だったからです。また、挨拶をこちらがしても生徒が挨拶を返してくれないと、腹が立ったりもしました。でも、大学の剣道部の恩師の著書の中で『木仏金仏石仏の教え』というのがあり、木仏金仏石仏の仏様はこちらが挨拶をしても絶対に挨拶を返すことはない。相手から挨拶が返ってこなくても腹を立てるな、というのがありました。こちらから挨拶をして、相手に挨拶を求めるのは傲慢であると書かれていました。

これを読んだ時にハッと気がつきました。確かに挨拶をする事は自分がしている事で、それだけです。相手からの挨拶まで求めて挨拶をするなら、単なる挨拶の『押し売り』です。それからは相手に返事を求めずに、目が合えば、いや合わなくてもこちらからどんどん挨拶をする事を心がけました。すると、挨拶を返してくれない相手を不快に思うとか、全くそうした気持ちもなくなりました。逆に相手から先に挨拶されると『今回はやられた！』と少し悔しくも心地よい気持ちになり、さらに大きい声で挨拶を返すよう心がけています。

最近、ランニングをほんの少しだけ始めました。利根川や福川（市内北部を流れています）の土手を休日に走りますが、ランナーと通り過ぎます。その時も挨拶（黙礼が多いです）をするし、されます。気持ちよく走ることができますね。

世の中が、コロナの影響でギスギスしており、その影響から抜け出そうとみんながそれぞれ周りにも目をくれず頑張っているとは思いますが、そんな中でも『フツー』に挨拶ができる事を大切にしていきたいと思っています。

前述した通り、約4ヶ月ぶりの通常授業で生徒も肉体的、精神的にも疲労感が出てくるかと思っています。ご家庭でも慌ただしい日常が始まり、保護者の方も疲れが出てくる頃かもしれません。無理のないようにお願いします。

また、なるべく近いうちに更新させていただきます。